

# 第1章

## 八丈分教室モデル事業の検証に当たって



## 1 計画での位置付け

東京都教育委員会は、「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画（令和4年3月）」において、八丈高等学校内に設置した青鳥特別支援学校八丈分教室（以下「八丈分教室」という。）でのモデル事業により、島しょ地域の分教室における特色ある教育内容や適切な規模の在り方等を検討し、その効果を検証していくこととしている。

### 〈東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画 61頁〉

都教育委員会では、島しょ地区に在住する障害のある生徒について、都立特別支援学校寄宿舎への入舎を認め、後期中等教育の場を確保するとともに、寄宿舎に入舎する生徒の帰省について、国の就学奨励事業の対象外となる付添人の交通費等を都の単独事業として支給対象とするなど、保護者の経済的な負担の軽減を図っています。

八丈町では、小・中学校の知的障害特別支援学級に在籍する児童・生徒の人数が増加傾向にあり、今後、継続して、知的障害のある生徒が複数、中学校を卒業することが見込まれることから、これらに適切に対応するため、令和3年度に八丈高等学校内に青鳥特別支援学校八丈分教室を設置しました。

八丈分教室においては、令和3年度から3年間のモデル事業を実施し、八丈高等学校の生徒との交流及び共同学習や、島内の団体・企業等と連携した就職等の進路指導を通して、分教室における特色ある教育内容や適切な規模の在り方等を検討し、その効果を検証していきます。

## 2 検証方法

八丈分教室モデル事業の検証に当たり、令和5年6月に、学識経験者、都教育庁関係者及び学校関係者からなる「島しょ地域における特別支援学校分教室のあり方検討委員会」（以下「あり方検討委員会」という。）を設置した。

あり方検討委員会では、八丈分教室及び八丈高等学校の生徒、保護者並びに教職員を対象に八丈分教室モデル事業に係るアンケート調査を実施するとともに、八丈町役場と特別支援学級を設置している八丈町立小・中学校に対してヒアリング調査を行った。その上で、八丈分教室の取組の成果と運営上の課題について協議を重ね、今後の方策を整理した。

最終的に、これらを参考として八丈分教室モデル事業の効果を検証するとともに、島しょ地域における分教室設置の考え方を報告書としてまとめた。

### 3 検証経緯

第1章

第2章

第3章

第4章

参考資料

#### 〈島しょ地域における特別支援学校分教室のあり方検討委員会〉

回数	日時	テーマ
第1回	令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・八丈分教室の活動状況等について</li><li>・アンケート調査の実施について</li><li>・あり方検討委員会での検討方法について</li><li>・意見交換</li></ul>
第2回	令和5年7月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート調査の結果について</li><li>・八丈町役場へのヒアリング調査について</li><li>・八丈町立小・中学校へのヒアリング調査について</li><li>・あり方検討委員会報告書（案）等について</li><li>・各委員からの意見聴取について</li><li>・意見交換</li></ul>
第3回	令和5年9月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・あり方検討委員会報告書（案）について</li><li>・今後のスケジュールについて</li><li>・意見交換</li></ul>
第4回	令和5年11月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・あり方検討委員会報告書（案）について</li><li>・今後のスケジュールについて</li><li>・意見交換</li></ul>

第  
1  
章

第  
2  
章

第  
3  
章

第  
4  
章

参  
考  
资  
料